

# 北海道浮魚ニュース

平成 24 ( 2012 ) 年度 13 号

2012 年 8 月 24 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 日本海スルメイカ沖合海洋観測調査結果

8 月 20 日 ~ 23 日の期間、北海道南部日本海で、函館水産試験場調査船金星丸 ( 151 トン、イカ釣機 5 台、集魚灯 20 灯装備 ) により実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

**調査海域のスルメイカ分布密度は、奥尻島南で昨年を上回り、渡島大島近海で昨年を下回った。魚体サイズは昨年より大きい。**

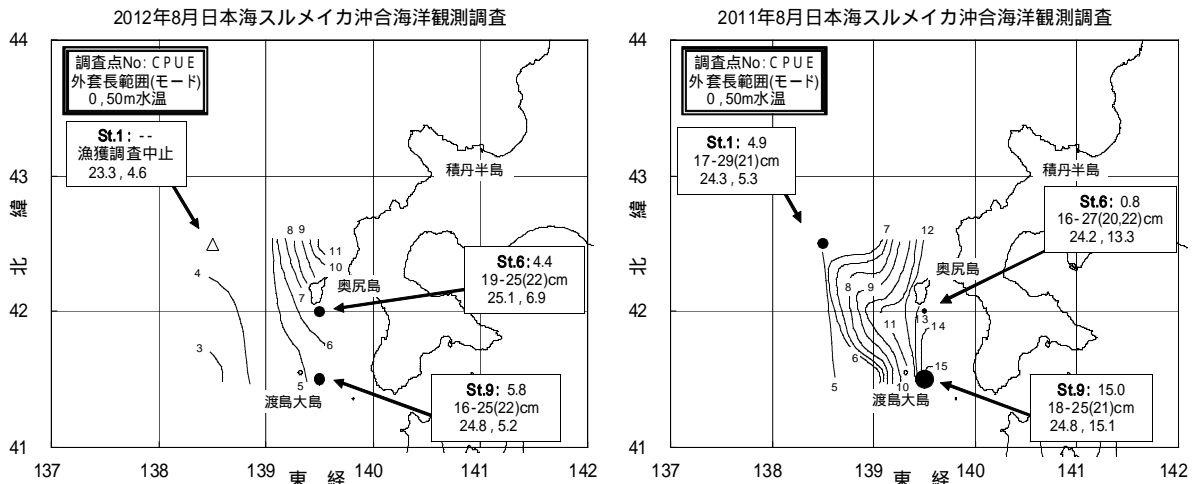


図 1 スルメイカ漁獲調査結果 ( 2011 年との比較 ) 。 ● は漁獲調査点。面積は CPUE に比例。  
△ は釣獲調査中止。等温線は水深 50m の水温 ( °C )

### 1 . 水温分布 ( 図 1 )

漁獲調査点 3 点の表面水温は 23.3 ~ 25.1 ( 昨年 24.2 ~ 24.8 )、水深 50 m の水温は 4.6 ~ 6.9 ( 昨年 5.3 ~ 15.1 ) の範囲にありました。

スルメイカの分布の目安となる水深 50m 層の水温は昨年より低く、5 を下回る海域が調査海域の西側半分以上を占め、特に南西側の沖合には 3 以下の低い水温の地点が見られました。また、調査海域全体で、表面と水深 50m の水温の差が大きい傾向が見られました。

### 2 . 分布密度 ( 図 1 )

漁獲調査点 3 地点のうち調査を実施した 2 点の CPUE ( 2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数 ) は、奥尻島南 St.6 では 4.4 で昨年 ( 0.8 ) を上回り、渡島大島近海 St.9 では 5.8 で昨年 ( 15.0 ) を下回りました。

### 3. スルメイカの大きさ

調査海域全体のスルメイカ外套長（胴長）の範囲は 14 ~ 25cm（昨年 16 ~ 29cm、一昨年 13 ~ 27cm）でした。最も多く出現したイカの大きさ（モード）は 22cm（昨年、一昨年ともに 21cm）で、全体的な魚体サイズは昨年及び一昨年より大型でした（図 2）。調査を実施した 2 地点の外套長のモードはともに 22cm（昨年 20 ~ 22cm）にありました（図 1）。

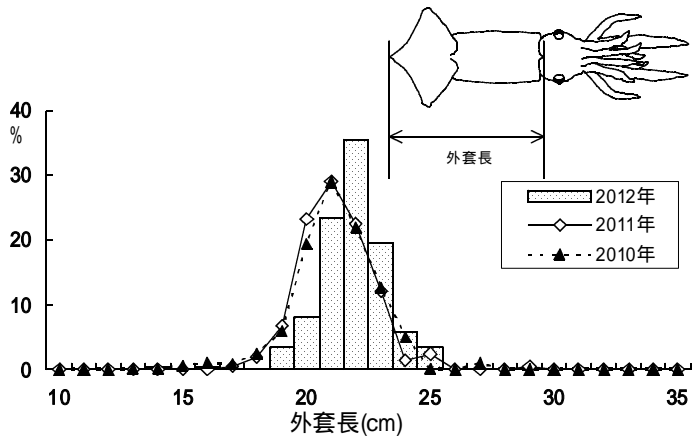


図 2 調査海域全体の外套長組成の経年比較

（文責：函館水産試験場調査研究部 TEL：0138-57-6056 直通、FAX：0138-57-5991）